

第五回佐賀市・唐津市合同

タクシー特定地域協議会

平成24年11月7日(水)

13:30～

グランデはがくれ(佐賀市)

資料1

第5回佐賀市・唐津市合同

タクシー特定地域協議会(会議資料)

資料1の目次

「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法(特措法)」関係資料

・・・1～4ページ

「タクシー事業の状況」関係資料

・・・5～21ページ

「特定事業計画・事業再構築状況」関係資料・・・22～32ページ

TAXI

**「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業
の適正化及び活性化に関する特別措置法(特措法)
」関係資料**

特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法(特措法)とは？

特措法の概要

タクシーは、鉄道・バス等とともに、我が国の地域公共交通を形成する重要な公共交通機関である。しかしながら、タクシー事業を巡っては、長期的に需要が減少傾向にある中、タクシー車両が増加していることなどにより、地域によっては、収益基盤の悪化や運転者の賃金等の労働条件の悪化等の問題が生じており、タクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮することが困難な状況にある。

こうした状況において、平成20年12月18日に交通政策審議会から「タクシー事業を巡る諸問題への対策について」が答申され、タクシーの機能を維持、活性化するために現時点で必要と考えられる対策が示された。

本法律は、以上を踏まえ、所要の措置を講ずるものである。

特措法の骨子

①特定地域の指定等

- ・国土交通大臣は、供給過剰等によりタクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮できていない地域を「特定地域」として指定
(都道府県知事及び市町村長が国土交通大臣に対して、特定地域の指定を行うよう要請することも可能)

②特定地域の協議会による地域計画の作成及び実施

- ・特定地域において、地域のタクシー事業者の関係者(地域住民も含む)は、協議会を組織し、特定地域におけるタクシー事業の適正化及び活性化を推進するための計画(「地域計画」)を作成することができる。
地域計画で定めるべき事項:タクシー事業の適正化及び活性化推進に関する基本方針(地域計画の目標、目標達成のための事業等)

③特定事業計画の作成

- ・特定地域のタクシー事業者は、単独又は共同で、地域計画に即したタクシー事業の適正化及び活性化に資する取組み(「特定事業」)を実施するための計画(「特定事業計画」)を作成し、国土交通大臣の認定を受けることができる。
- ・特定事業計画には、事業譲渡、合併、減車等(「事業再構築」)について定めることができる。

④特定地域における道路運送法の特例

- ・特定地域において増車を行う場合は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。



協議会設置の目的

特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法より

関係者相互の連携及び協力について

第七条

国、地方公共団体、一般乗用旅客自動車運送事業者等その他の関係者は、特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化を推進するため、相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならない。

協議会の設置について

第八条

特定地域において、地方運輸局長、関係地方公共団体の長、一般乗用旅客自動車運送事業者等、一般乗用旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者の組織する団体及び地域住民は、次条第一項に規定する地域計画の作成、当該地域計画の実施に係る連絡調整その他当該特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化の推進に関し必要な協議を行うための協議会（以下単に「協議会」という。）を組織することができる。

- 2 協議会は、必要があると認めるときは、次に掲げる者をその構成員として加えることができる。
 - 一 一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に資する他の事業を営む者
 - 二 学識経験を有する者
 - 三 その他協議会が必要と認める者

協議会とは

基本的な考え方

- 協議会は、地域計画の策定主体となるものであり、計画実施に係る関係者間の連絡調整を行うなど、特定地域におけるタクシー事業の適正化・活性化を推進する上での中心的な役割を担うもの。
- 地域の多様な関係者が積極的に協議会に参画し、共有の認識の下、タクシー事業の適正化・活性化に関する取組を総合的かつ一体的に取り組んでいくことが期待される。

構成員

- 地方運輸局長、関係地方公共団体の長、タクシー事業者・団体、運転者の団体、地域住民のほか、必要に応じて他の公共交通事業者、地元企業、学識経験者等を構成員に含めることが望ましい。
- また、協議事項に関係する関係行政機関(都道府県労働局又は労働基準監督署、都道府県公安委員会など)の参画を得ることも重要。

記載事項に関する留意事項

- 協議会運営の透明性・実効性等を確保する観点から、協議会における意思決定の方法等に係る規約を定め、適切に協議会を運営することが望ましい。
- 協議会運営の効率化や他の計画との整合性の確保を図る観点から、地域公共交通活性化・再生法に基づく協議会等と合同で協議会を開催することも考えられる。

平成24年9月28日国土交通省告示により、佐賀市と唐津市は平成27年9月30日まで特定地域として引き続き指定されました。協議会は、今後ともタクシー事業の現状・地域計画に定めた目標の達成状況について把握・分析を行うとともに、必要に応じて地域計画の見直しをすることとされています。

TAXI

「タクシー事業の状況」関係資料

一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）とは・・・

タクシーは、鉄道、バス等とともに、我が国の地域公共交通を形成する重要な公共交通機関であり、地域社会に密着したドア・ツー・ドアの個別輸送、観光立国に対応する観光タクシー及び高齢化社会に対応する福祉輸送等あらゆる側面を持ち、一人一人の利用者のニーズにきめ細かく、なおかつ柔軟に対応することができる乗り物である。

一般タクシー

流し、駅待ち及び無線等により利用者の対応をするタクシー



個人タクシー

優秀適格者のみ許可され、高水準のサービスを提供するタクシー



乗合タクシー

乗合バス等では対応が困難な地域や時間帯等において足の確保を行うタクシー・デマンドタクシー等



観光タクシー

定まっている観光ルートを低運賃にて周遊することができるタクシー



福祉タクシー

身体障害者及び高齢者等のニーズにあわせ、車イスや寝台のまま乗ることができるタクシー



タクシー事業に関する現行制度の概要

参入面等（特定地域）

○新規参入

- ・輸送の安全確保に必要な体制・能力の審査(例:車庫・休憩仮眠施設、教育・指導体制等)
- ・事業を適確に遂行するに足る能力の審査(例:資金計画、法令知識試験、損害賠償能力、最低保有車両数等)
- ・欠格事由(過去2年以内に事業許可の取消処分を受けていること等)に該当しないこと

○事業計画の変更(営業区域の拡大・増車等:認可、減車等:事前届出)

新規許可・増車認可の審査基準に、新たに発生する輸送需要によることを追加

運賃面

○認可制(運用として上限規制)

- ・能率的な運営の下における適正な原価に適正な利潤を加えたものであること(総括原価主義)
- ・特定の旅客に対し不当な差別的取扱いをするものでないこと
- ・他の事業者との間に不当な競争を引き起こすおそれがないこと

事業運営面

組織体制

- ・運行管理者の選任
- ・整備管理者の選任
- ・運輸安全マネジメントの実施

運転者

- ・運転者の選任に当たっての諸規制(研修の義務付けなど)

運行

- ・点呼の義務付け
- ・運転者の拘束時間の制限
- ・運行記録計による速度等の記録義務付け(福岡交通圏のみ)

輸送サービス

- ・運送約款(認可制・標準約款制)
- ・区域外運送の禁止(発地及び着地のいずれもが営業区域外に存する旅客運送の禁止)

運送引受義務

タクシー事業者は一定の場合(公序良俗に反する場合、天災の場合等)を除き、運送の引受けを拒絶してはならない。

タクシー事業が抱える課題のまとめ

◆輸送需要の減退により・・・

- ・タクシー事業者の収益基盤悪化
- ・運転者の賃金等の労働条件悪化

◆車両台数の増加により・・・

- ・車両1台当たり利益率の低下
- ・タクシー車両による道路混雑(交通問題、環境問題、都市問題)

◆これらの要因により・・・

- ・過重労働に伴う交通事故の誘発
- ・サービスの質的低下

・・・等々・・・

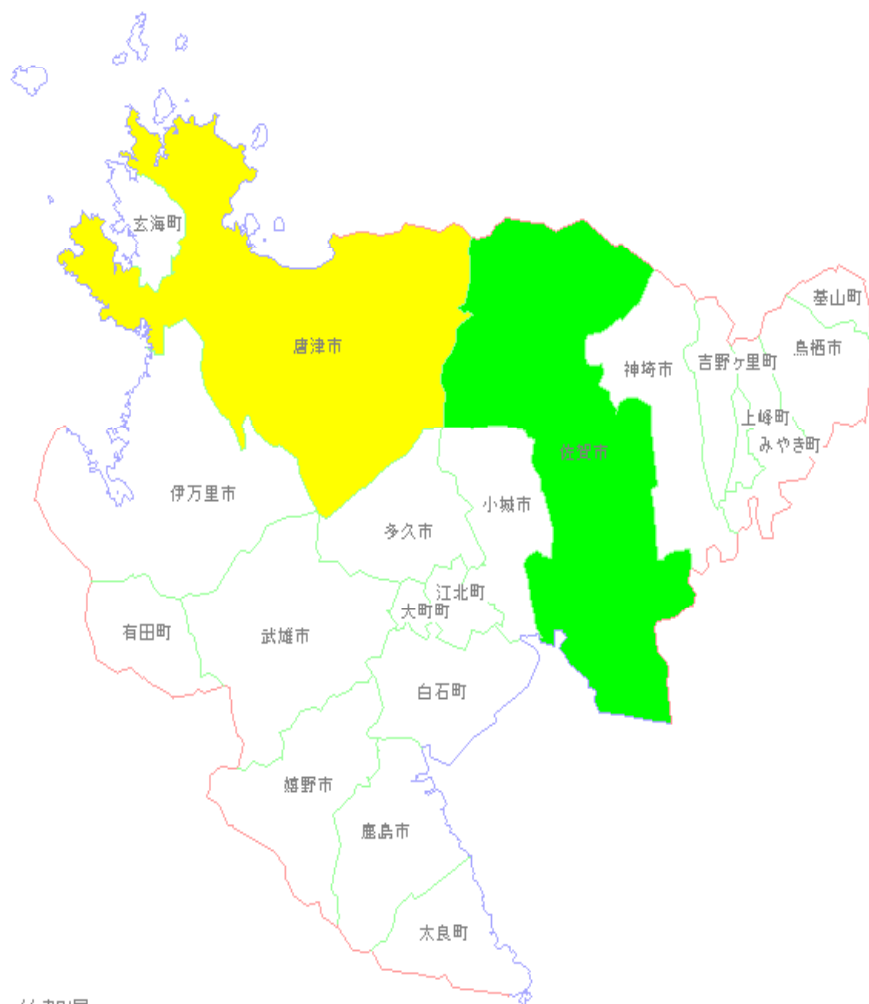


地域公共交通機関としての機能不全



タクシー事業の適正化及び活性化を推進することにより、
地域公共交通としての機能を十分に発揮できるようにするために
必要となる地域計画の作成等を行うために
特定地域協議会を設置

各特定地域のタクシー事業者数・タクシー台数



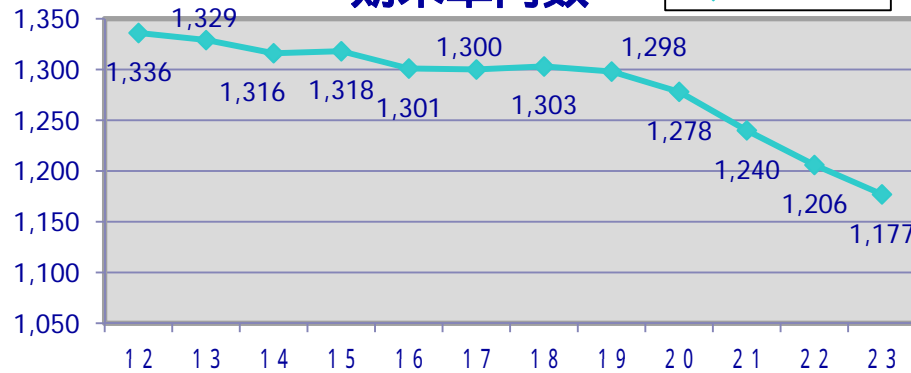
佐賀県

| | 佐賀市 | | | |
|----------|--------|-----|--------|-------|
| | 法人タクシー | | 個人タクシー | タクシー計 |
| | 事業者数 | 車両数 | | |
| 平成24年9月末 | 18 | 440 | 59 | 499 |
| 平成14年3月末 | 24 | 522 | 67 | 589 |

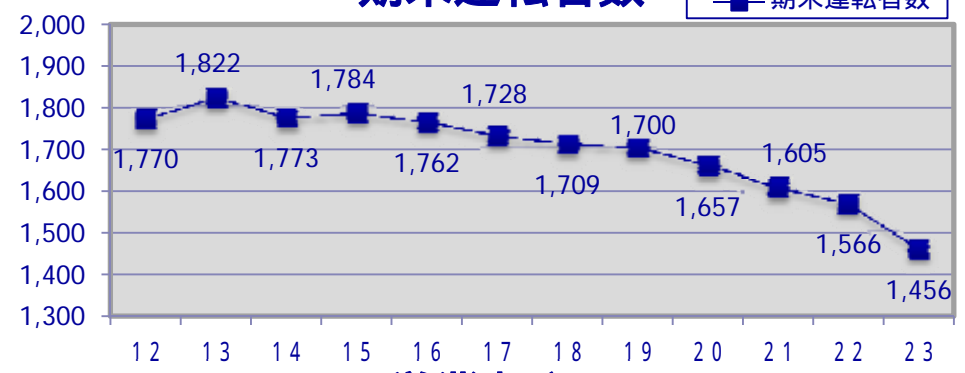
| | 唐津市 | | | |
|----------|--------|-----|--------|-------|
| | 法人タクシー | | 個人タクシー | タクシー計 |
| | 事業者数 | 車両数 | | |
| 平成24年9月末 | 8 | 194 | | 194 |
| 平成14年3月末 | 9 | 227 | | 227 |

佐賀県の法人タクシーの輸送実績の推移

期末車両数



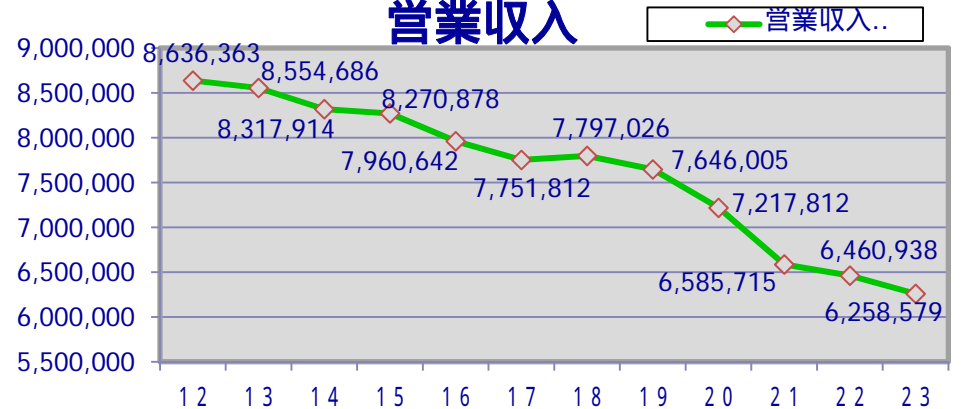
期末運転者数



輸送人員



営業収入

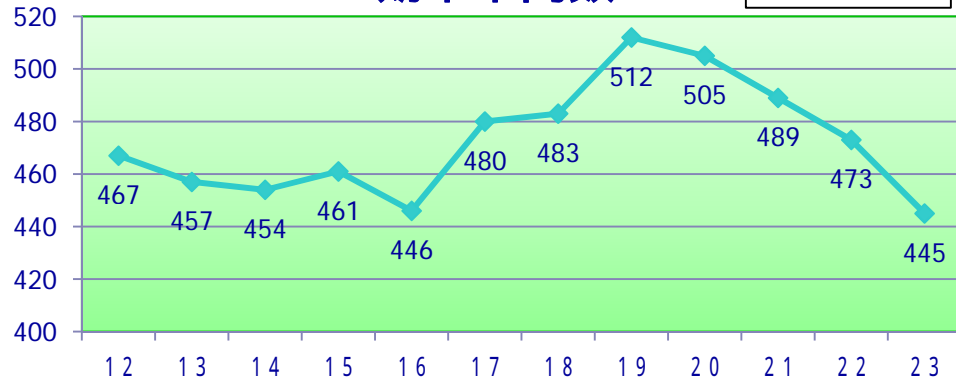


| 年度 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 期末車両数 | 1,336 | 1,329 | 1,316 | 1,318 | 1,301 | 1,300 | 1,303 | 1,298 | 1,278 | 1,240 | 1,206 | 1,177 |
| 期末運転者数 | 1,770 | 1,822 | 1,773 | 1,784 | 1,762 | 1,728 | 1,709 | 1,700 | 1,657 | 1,605 | 1,566 | 1,456 |
| 輸送人員 | 10,605,687 | 10,424,728 | 10,462,576 | 10,128,508 | 10,003,607 | 9,499,912 | 9,519,114 | 9,092,319 | 8,304,213 | 7,588,188 | 7,427,233 | 7,209,619 |
| 営業収入 (千円) | 8,636,363 | 8,554,686 | 8,317,914 | 8,270,878 | 7,960,642 | 7,751,812 | 7,797,026 | 7,646,005 | 7,217,812 | 6,585,715 | 6,460,938 | 6,258,579 |

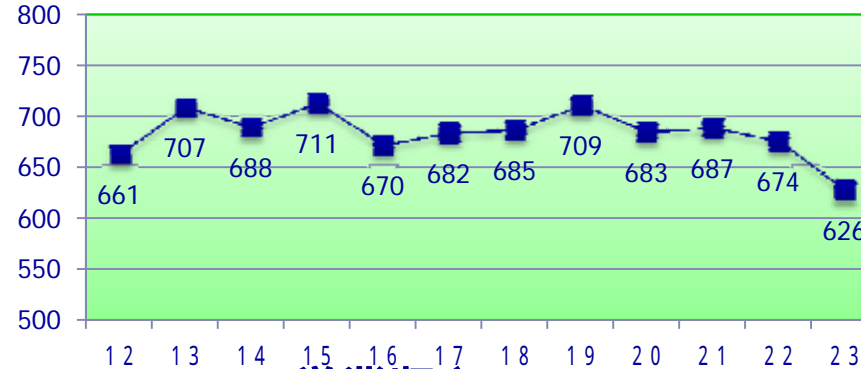
資料：九州運輸局自動車交通部旅客第二課「九州管内都市別タクシー輸送実績集計表」

佐賀市の法人タクシーの輸送実績の推移

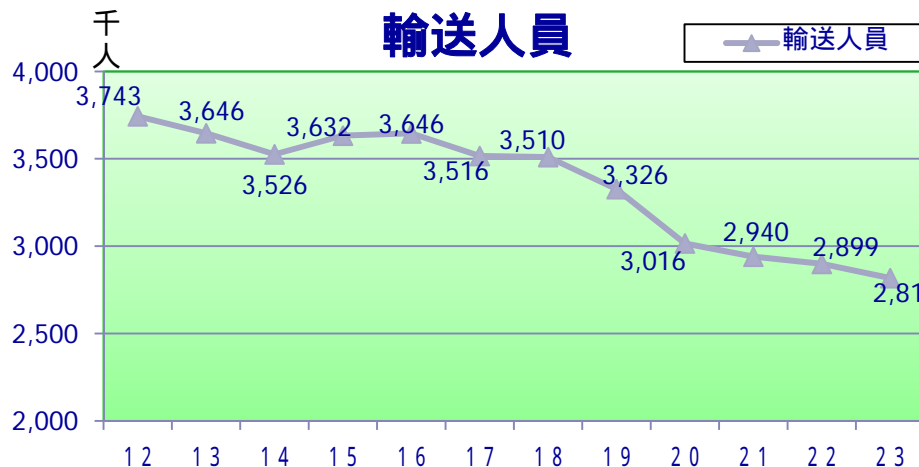
期末車両数



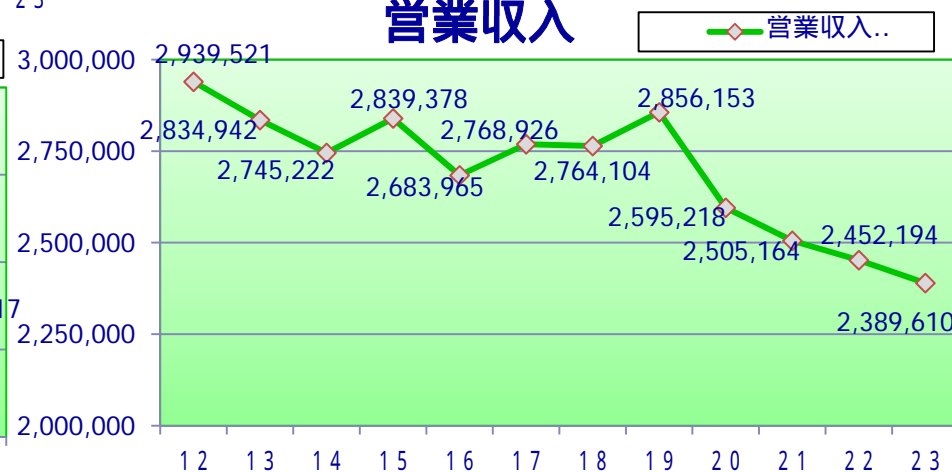
期末運転者数



輸送人員



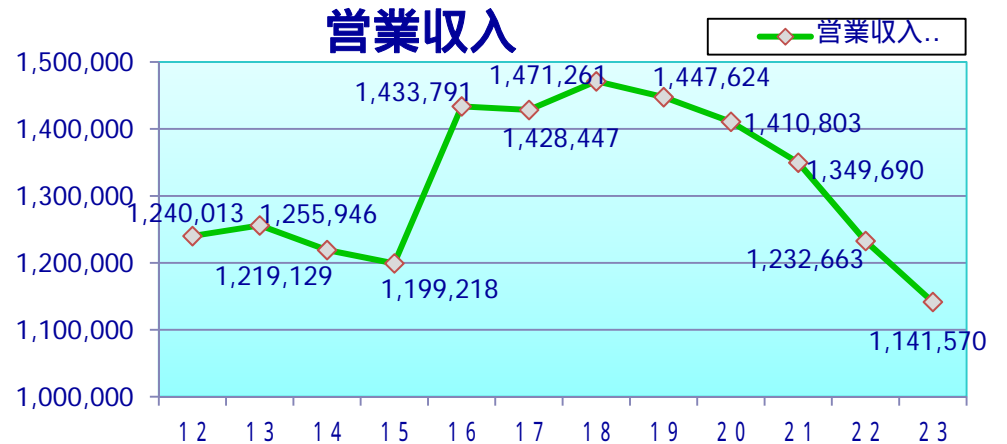
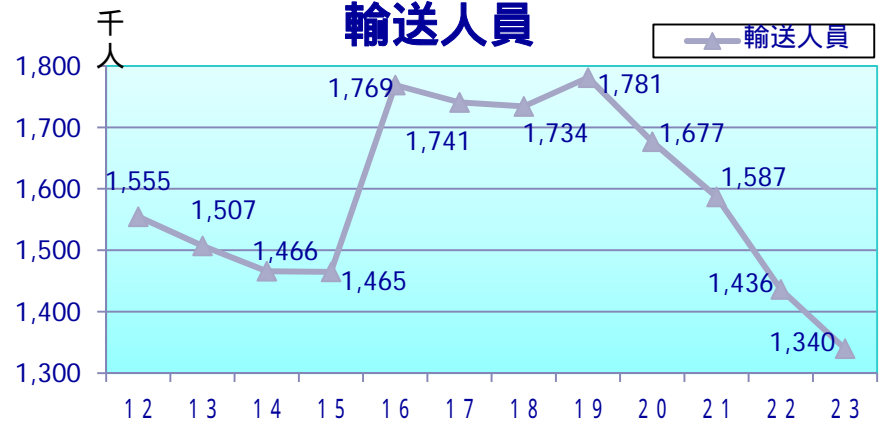
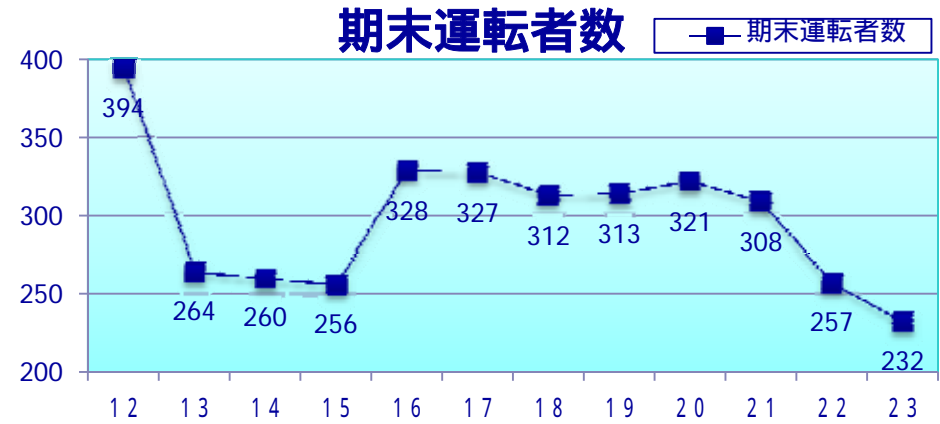
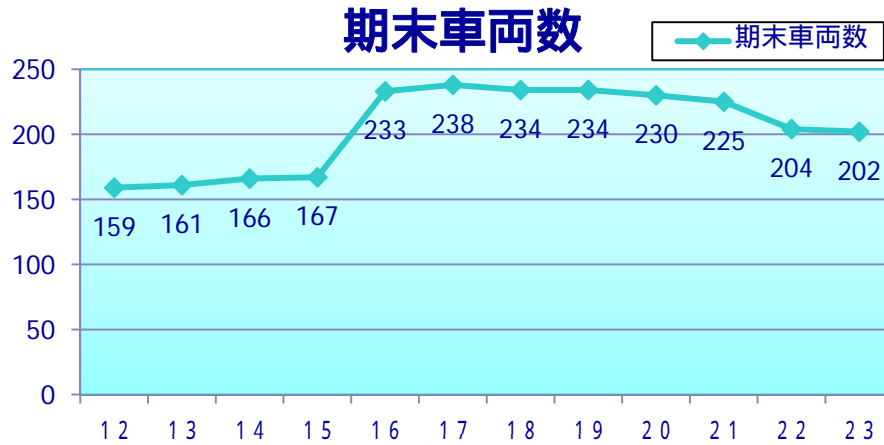
営業収入



| 年度 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 期末車両数 | 467 | 457 | 454 | 461 | 446 | 480 | 483 | 512 | 505 | 489 | 473 | 445 |
| 期末運転者数 | 661 | 707 | 688 | 711 | 670 | 682 | 685 | 709 | 683 | 687 | 674 | 626 |
| 輸送人員 | 3,743,421 | 3,646,096 | 3,525,554 | 3,632,483 | 3,645,543 | 3,515,964 | 3,509,876 | 3,326,226 | 3,015,526 | 2,940,303 | 2,899,064 | 2,817,451 |
| 営業収入 (千円) | 2,939,521 | 2,834,942 | 2,745,222 | 2,839,378 | 2,683,965 | 2,768,926 | 2,764,104 | 2,856,153 | 2,595,218 | 2,505,164 | 2,452,194 | 2,389,610 |

H19.10.1佐賀郡川副町・東与賀町・久保田町と合併 H17.10.1佐賀郡大和町・諸富町・富士町・神埼郡三瀬村と合併
 資料：九州運輸局自動車交通部旅客第二課「九州管内都市別タクシー輸送実績集計表」

唐津市の法人タクシーの輸送実績の推移



| 年度 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 期末車両数 | 159 | 161 | 166 | 167 | 233 | 238 | 234 | 234 | 230 | 225 | 204 | 202 |
| 期末運転者数 | 394 | 264 | 260 | 256 | 328 | 327 | 312 | 313 | 321 | 308 | 257 | 232 |
| 輸送人員 | 1,554,641 | 1,507,121 | 1,465,892 | 1,464,769 | 1,768,946 | 1,740,672 | 1,734,171 | 1,780,973 | 1,676,796 | 1,586,923 | 1,436,329 | 1,339,704 |
| 営業収入 (千円) | 1,240,013 | 1,255,946 | 1,219,129 | 1,199,218 | 1,433,791 | 1,428,447 | 1,471,261 | 1,447,624 | 1,410,803 | 1,349,690 | 1,232,663 | 1,141,570 |

H17.1.1 東松浦郡浜玉町・巖木町・相知町・北波多村・肥前町・鎮西町・呼子町と合併

H18.1.1 東松浦郡七山村と合併

資料：九州運輸局自動車交通部旅客第二課「九州管内都市別タクシー輸送実績集計表」

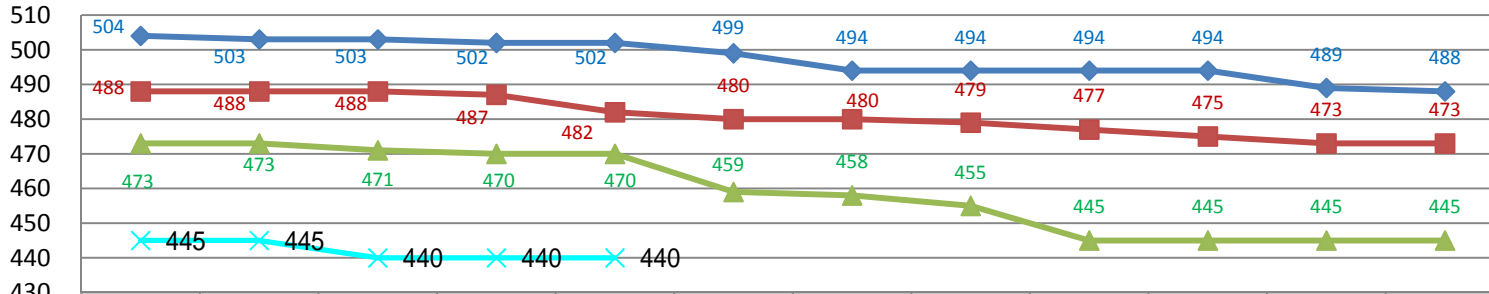
佐賀市 輸送状況の推移 1 / 3

佐賀市

(両)

車両数

◆平成21年度 ■平成22年度 ▲平成23年度 ✕平成24年度



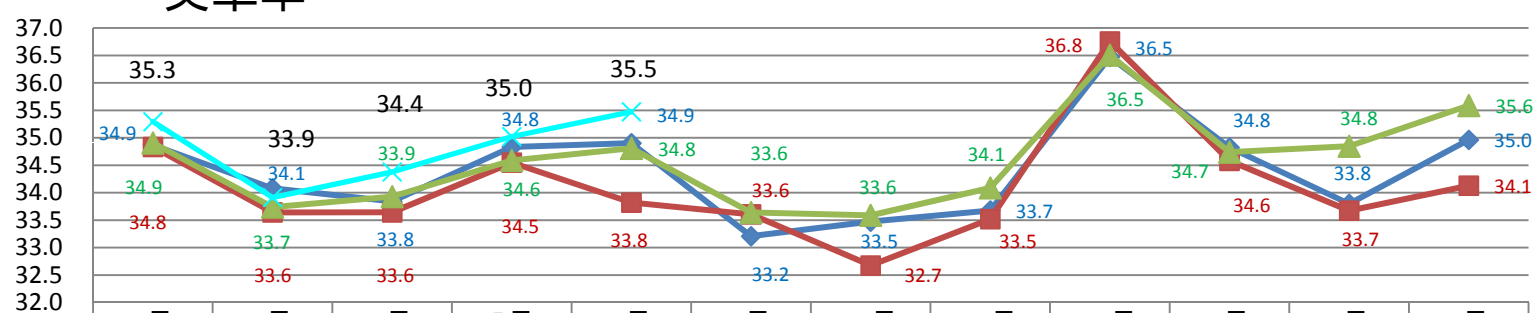
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 平成21年度 | 504 | 503 | 503 | 502 | 502 | 499 | 494 | 494 | 494 | 494 | 489 | 488 |
| 平成22年度 | 488 | 488 | 488 | 487 | 482 | 480 | 480 | 479 | 477 | 475 | 473 | 473 |
| 平成23年度 | 473 | 473 | 471 | 470 | 470 | 459 | 458 | 455 | 445 | 445 | 445 | 445 |
| 平成24年度 | 445 | 445 | 440 | 440 | 440 | | | | | | | |

佐賀市

(%)

実車率

◆平成21年度 ■平成22年度 ▲平成23年度 ✕平成24年度



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成21年度 | 34.9 | 34.1 | 33.8 | 34.8 | 34.9 | 33.2 | 33.5 | 33.7 | 36.5 | 34.8 | 33.8 | 35.0 |
| 平成22年度 | 34.8 | 33.6 | 33.6 | 34.5 | 33.8 | 33.6 | 32.7 | 33.5 | 36.8 | 34.6 | 33.7 | 34.1 |
| 平成23年度 | 34.9 | 33.7 | 33.9 | 34.6 | 34.8 | 33.6 | 33.6 | 34.1 | 36.5 | 34.7 | 34.8 | 35.6 |
| 平成24年度 | 35.3 | 33.9 | 34.4 | 35.0 | 35.5 | | | | | | | |

参考 九州運輸局より示された適正車両数

佐賀市 実働率85%で算出 400両 実働率90%で算出 380両

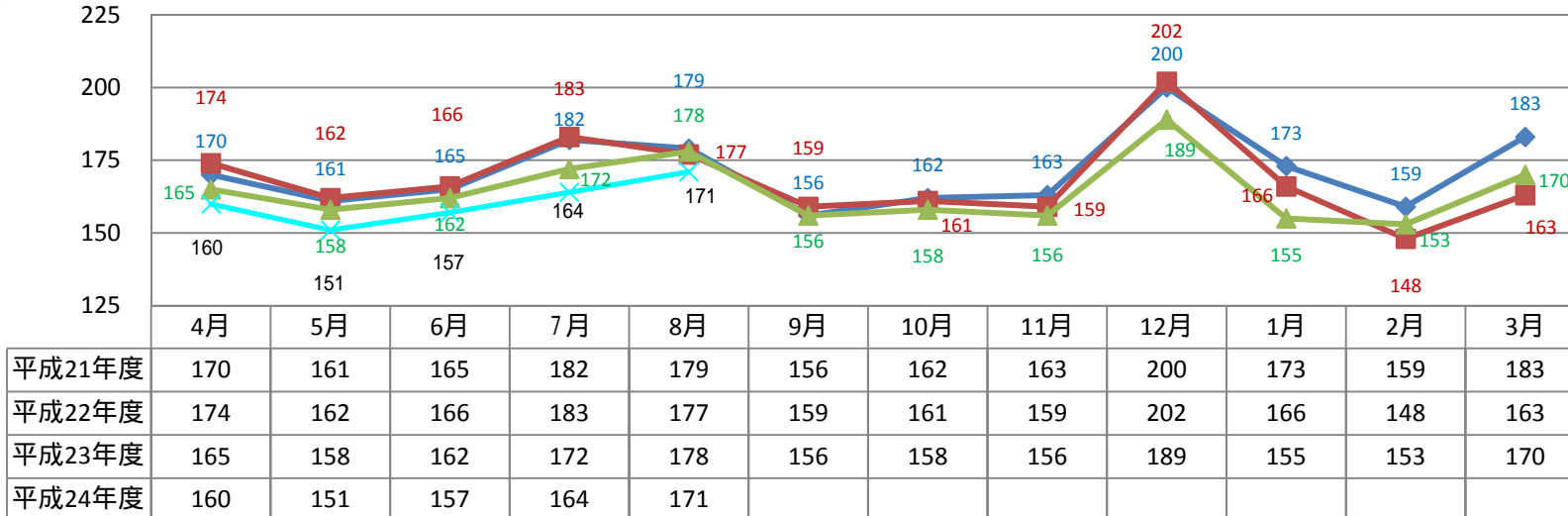
佐賀市 輸送状況の推移 2 / 3

佐賀市

(千回)

輸送回数

● 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 × 平成24年度

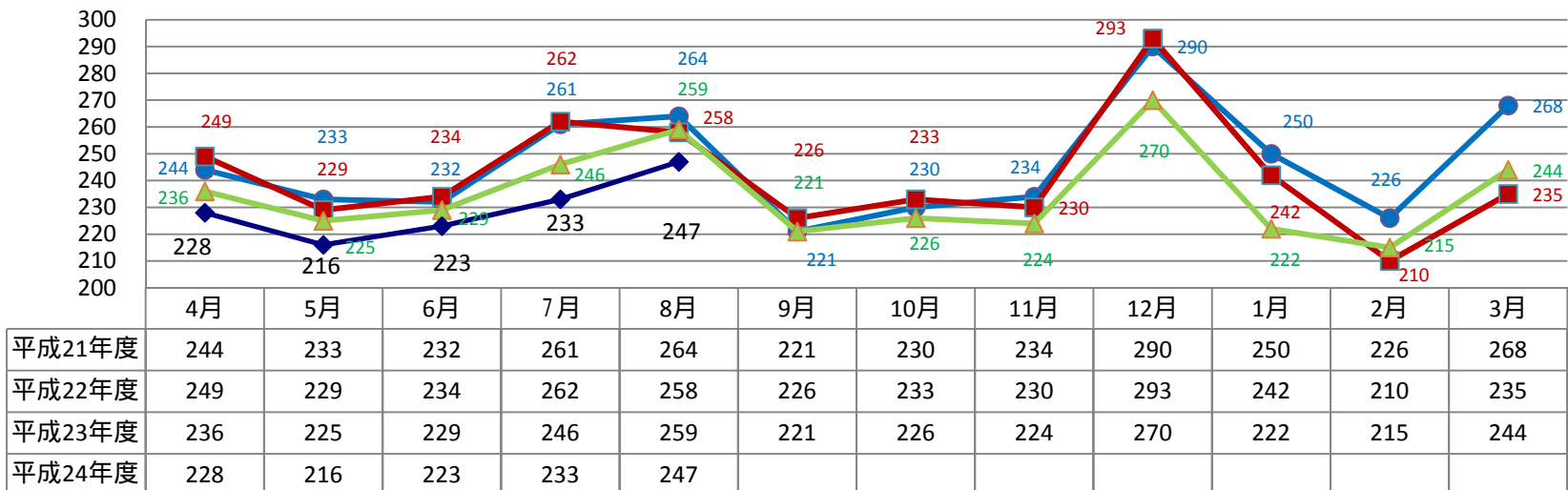


佐賀市

(千人)

輸送人員

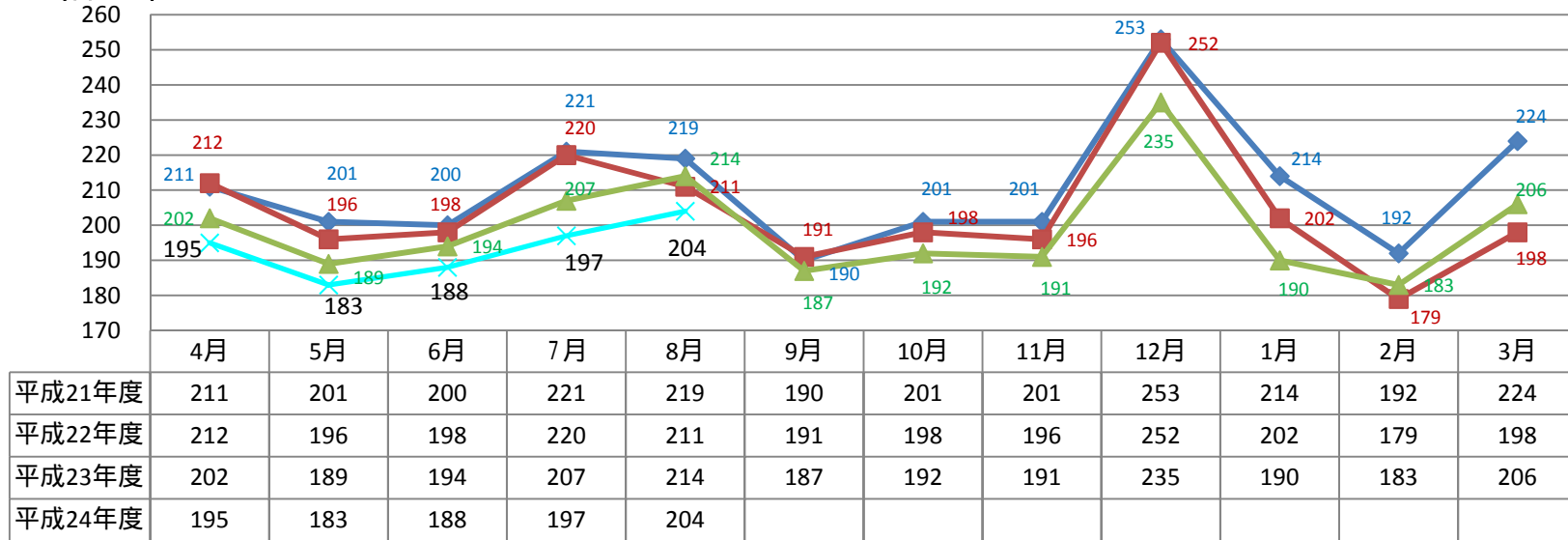
● 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 ◆ 平成24年度



佐賀市
(百万円)

営業収入

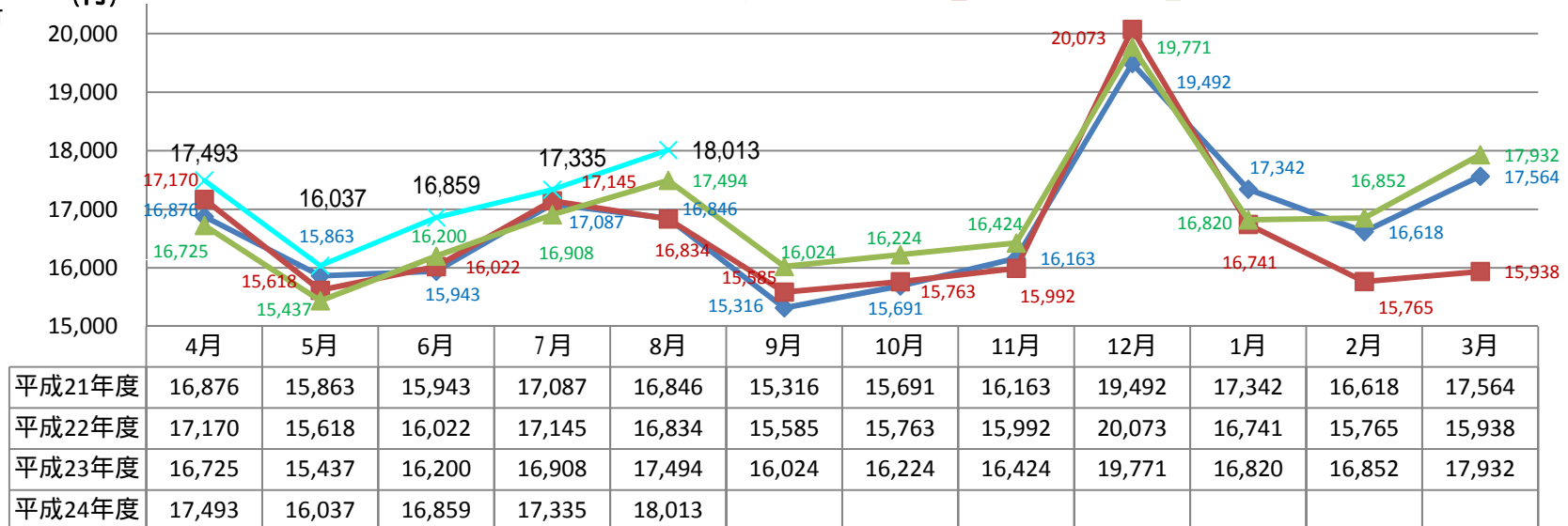
◆ 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 ✕ 平成24年度



佐賀市

日車营收

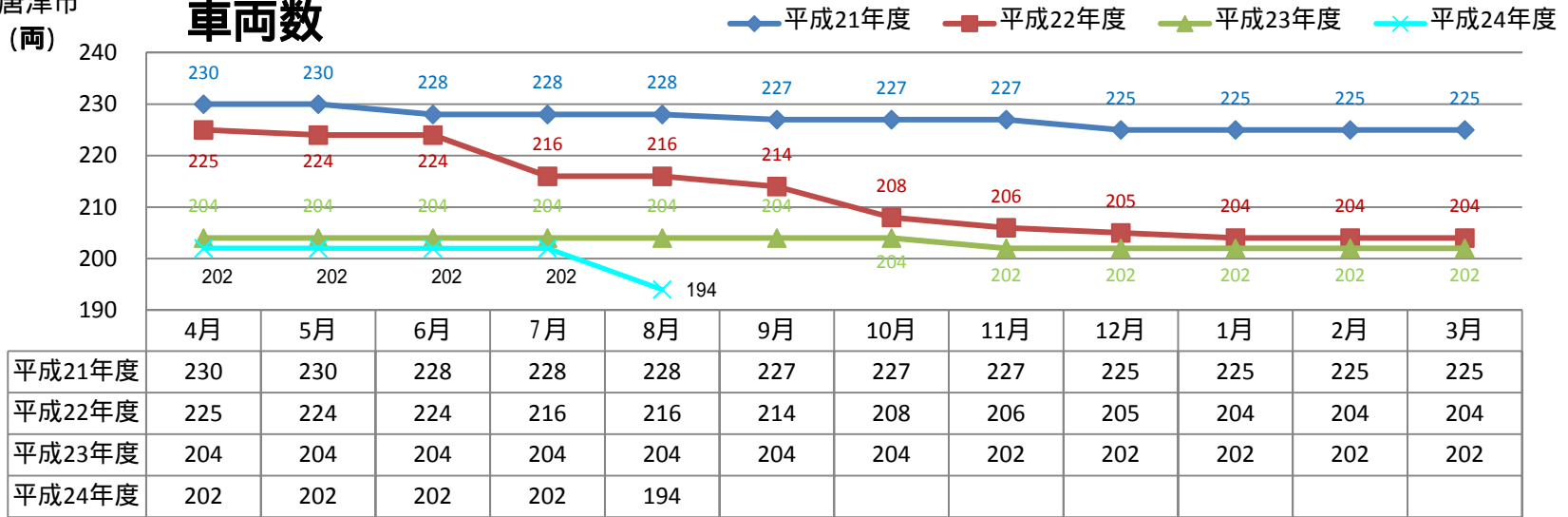
◆ 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 ✕ 平成24年度



唐津市 輸送状況の推移 1 / 3

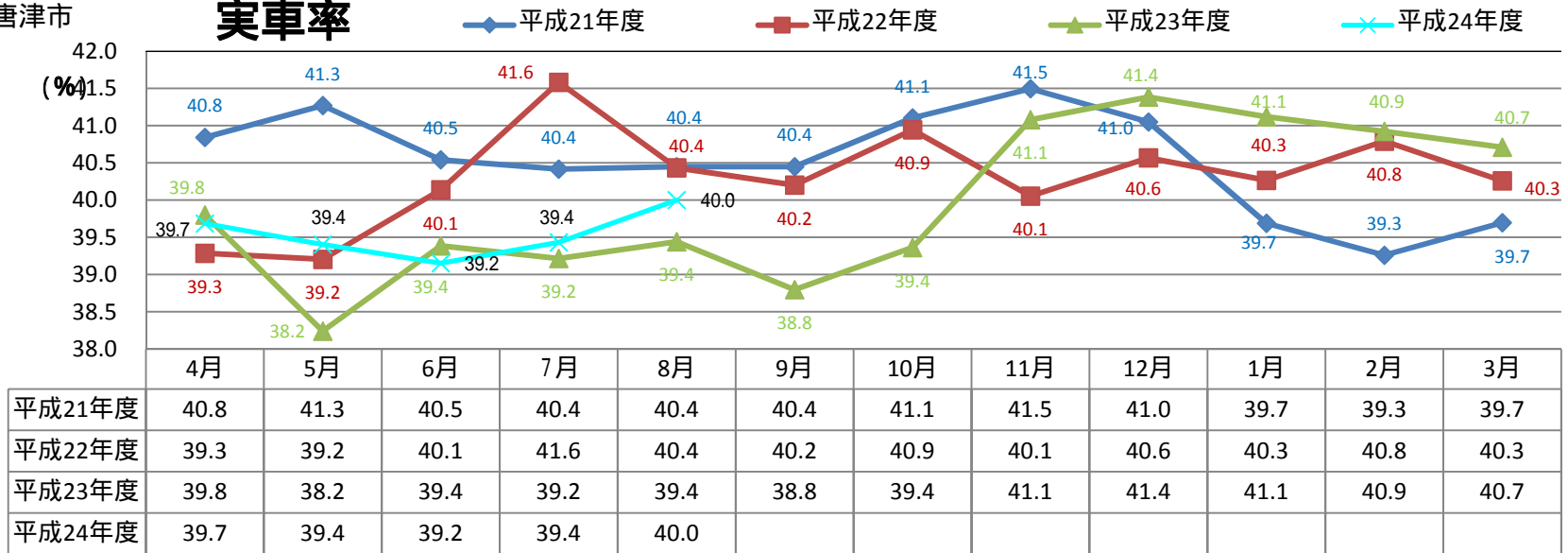
唐津市
(両)

車両数



唐津市

実車率

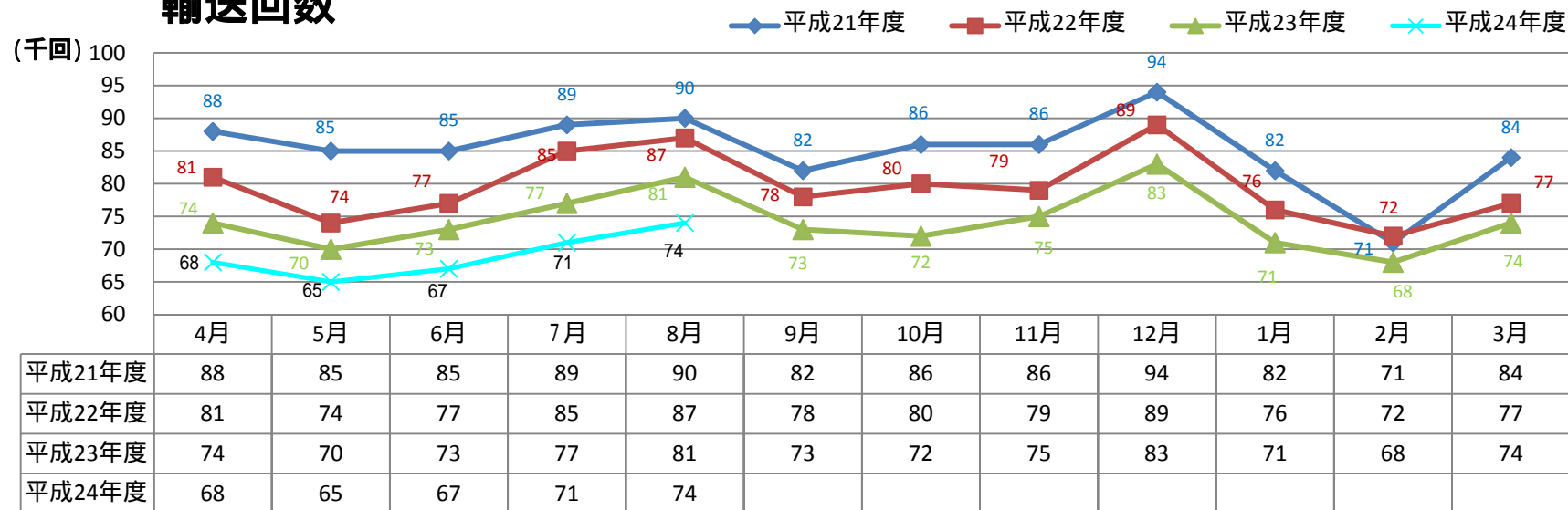


参 考 九州運輸局より示された適正車両数

唐津市 実働率85%で算出 190両 実働率90%で算出 180両

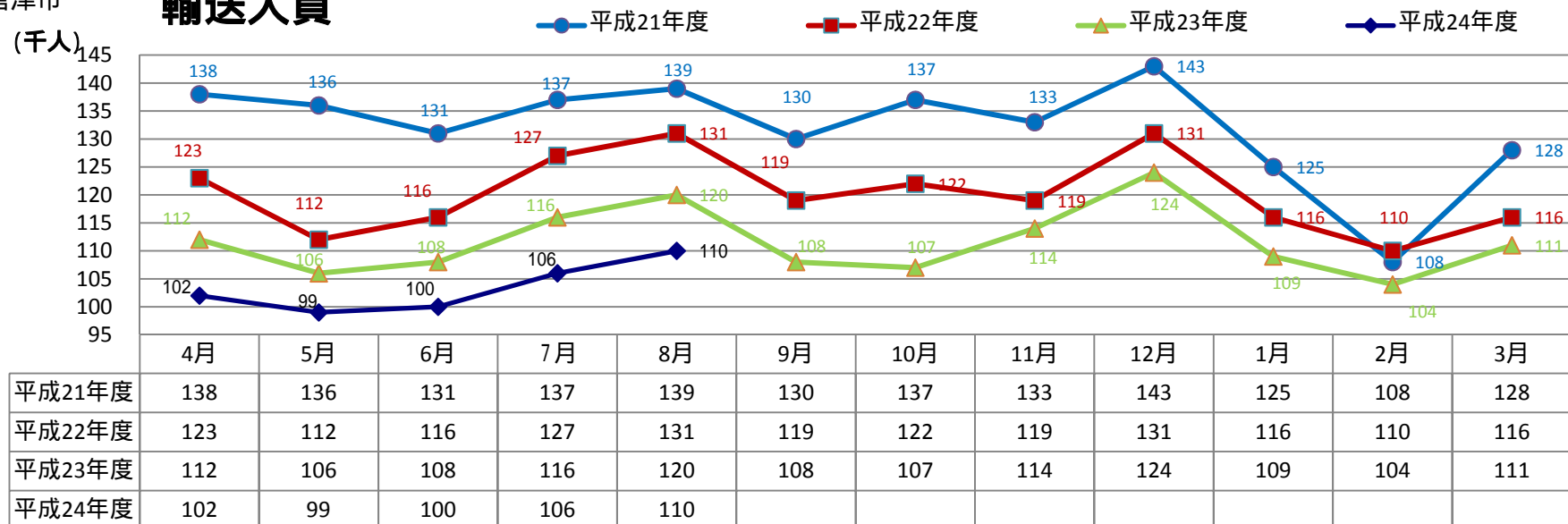
唐津市

輸送回数



唐津市

輸送人員



唐津市

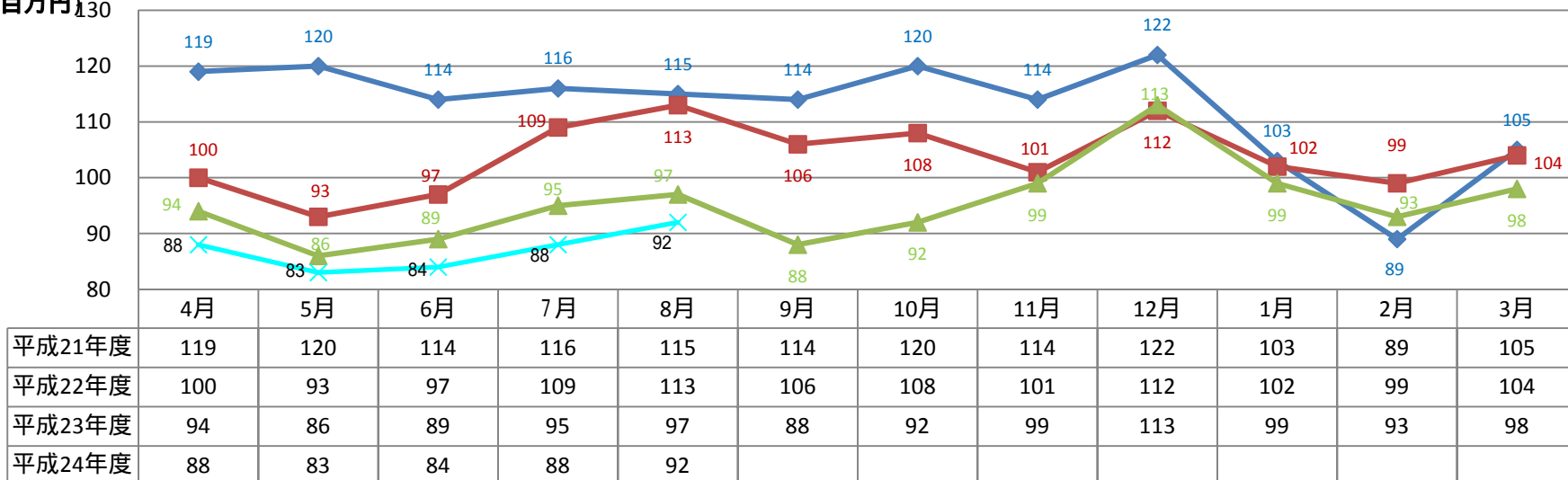
輸送状況の推移

3 / 3

唐津市
(百万円)

営業収入

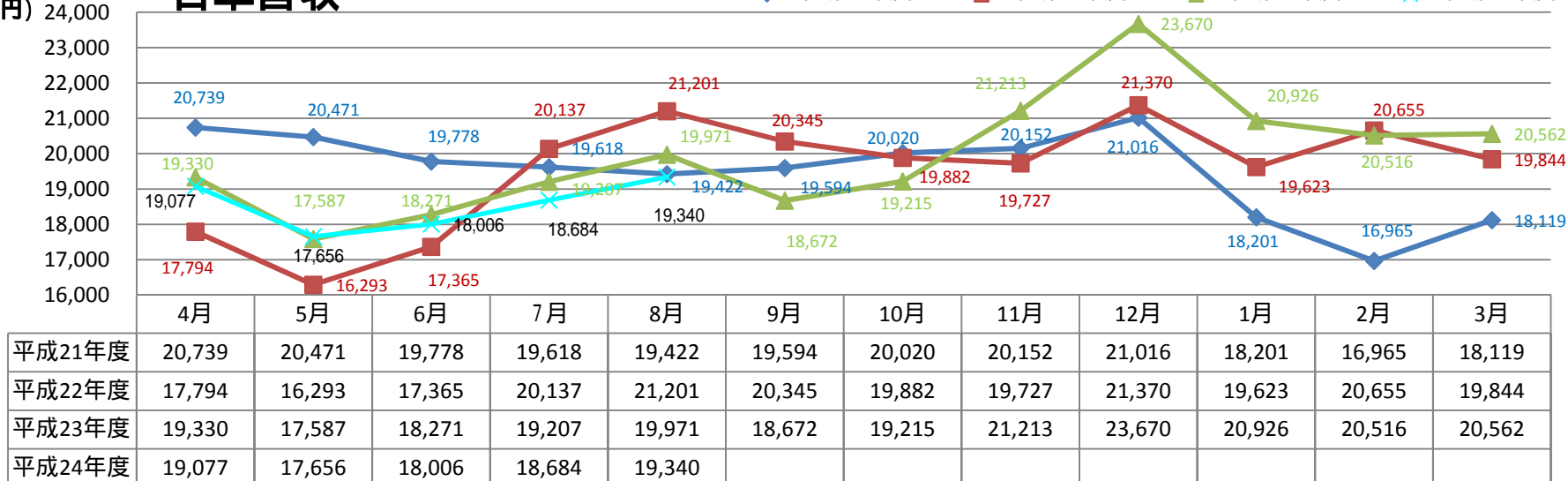
◆ 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 ✕ 平成24年度



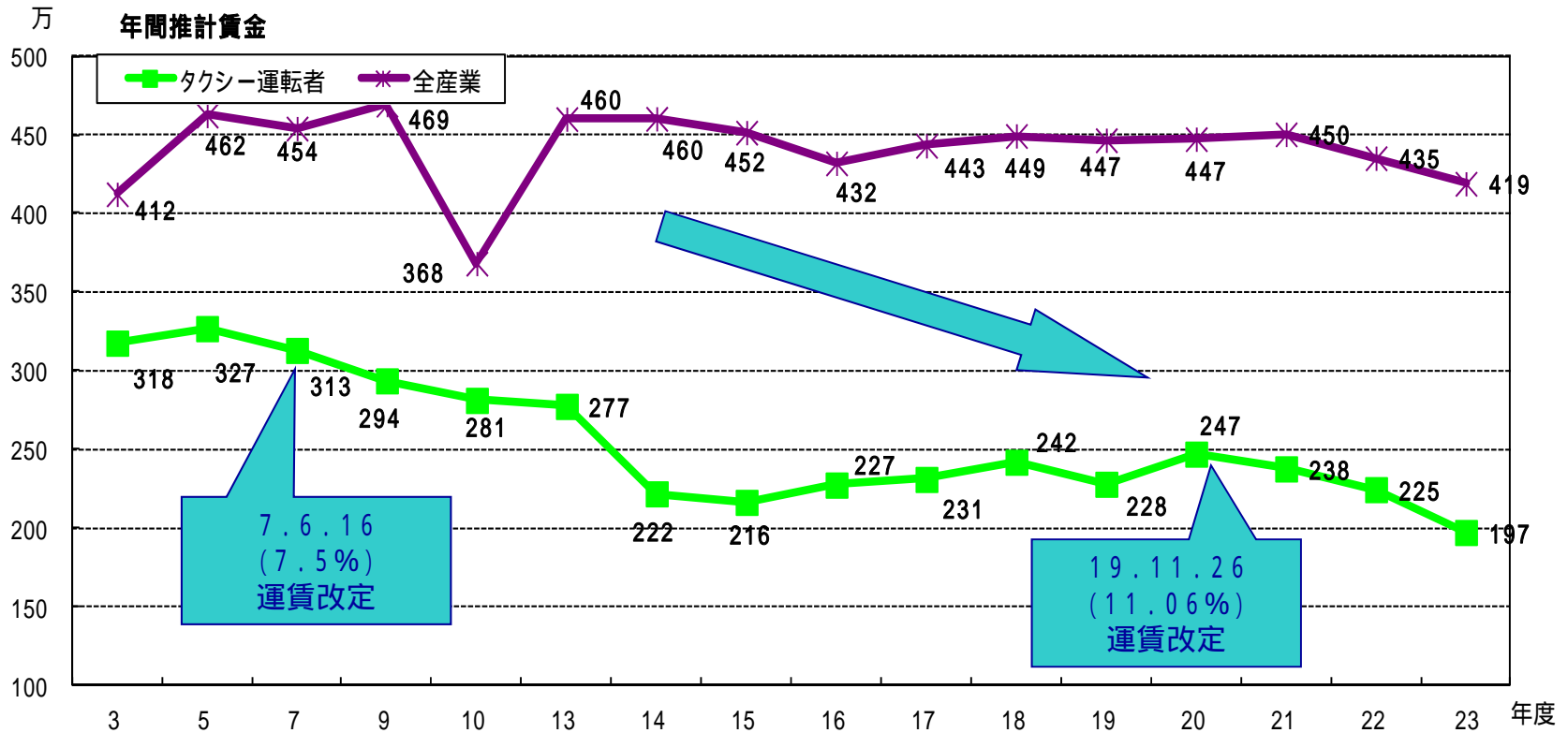
唐津市
(円)

日車营收

◆ 平成21年度 ■ 平成22年度 ▲ 平成23年度 ✕ 平成24年度

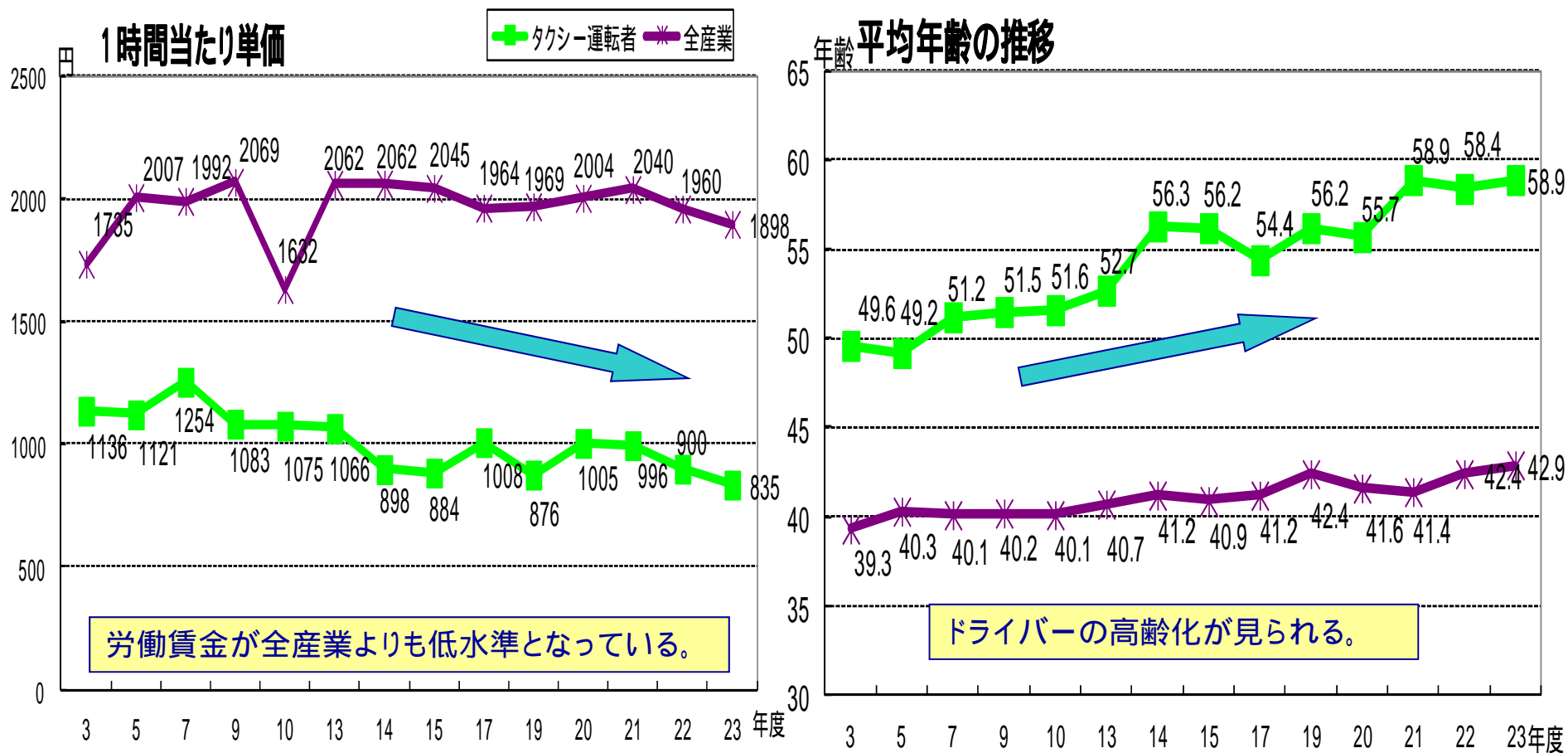


佐賀県におけるタクシー運転者の労働環境 1 / 2



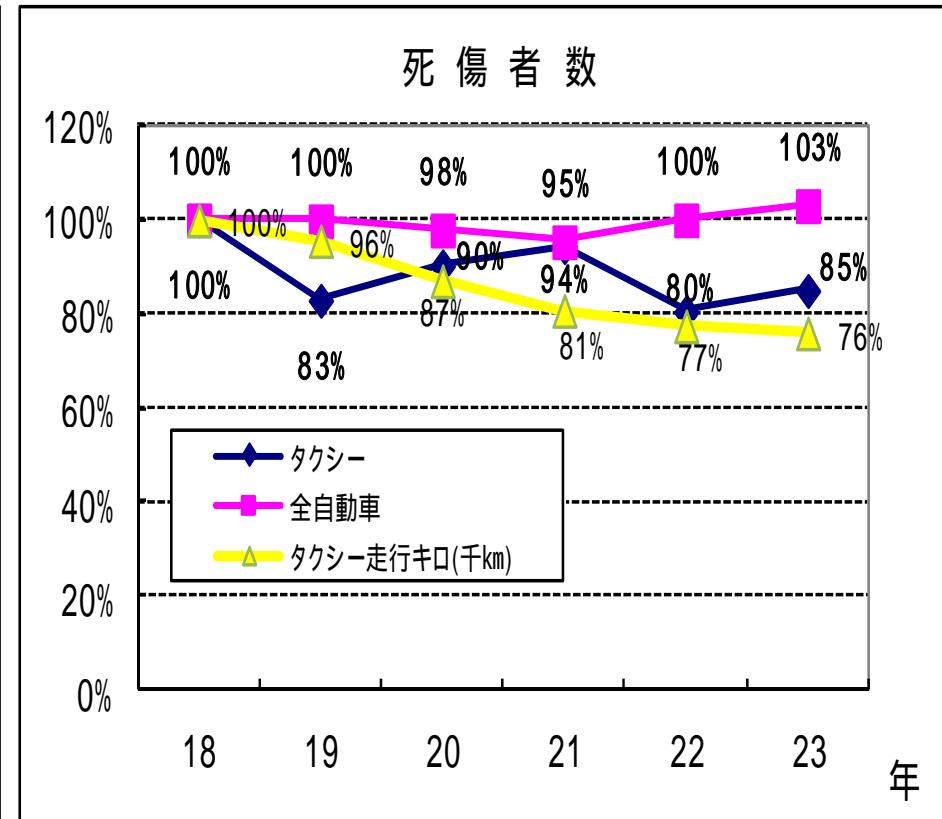
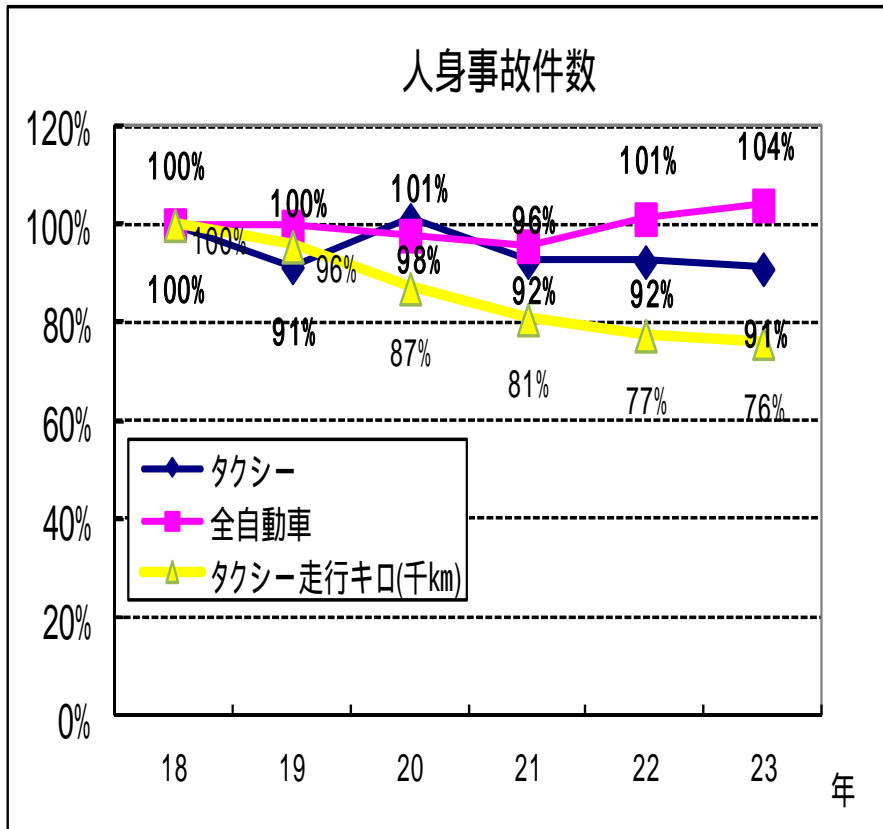
* 19年の運賃改定では運転者の賃金改善を条件とし行政指導を行ったもの。

佐賀県におけるタクシー運転者の労働環境 2 / 2



厚生労働省 賃金構造基本統計調査より

佐賀県における人身事故発生件数の推移 (H18=100)



全車両、タクシーが第一当事者の場合における死者数、負傷者数、死傷者を基に算出

資料 佐賀県警察本部交通部交通企画課

TAXI

「特定事業計画・事業再構築状況」 関係資料

佐賀市特定事業計画認定申請状況 一覧表

| | 事業者名称 | 営業区域 (特定地域名) | 申請日 | 認定番号 | 認定日 | 基準車両数 (1) | 平成21年 9月末 車両数 | 既減車数 (2) | 申請時 車両数 | 事業再構築 | | | 減車・休車後 の車両数 | 基準車両数から の減車・休車率 |
|-----|--------------------|-----------------|------|-----------|-------|----------------|---------------------|---------------|------------|-------|-----|----|----------------|--------------------|
| | | | | | | | | | | 減車数 | 休車数 | 合計 | | |
| 1 | (株)佐賀タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第117号 | 6月25日 | (3)74 | 64 | 0 | 64 | 8 | 0 | 8 | (3)66 | 10.8% |
| 2 | (有)みどりタクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第112号 | 6月21日 | 30 | 27 | 0 | 27 | 0 | 2 | 2 | 25 | 16.7% |
| 3 | (株)池田タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第109号 | 6月21日 | 39 | 38 | 0 | 38 | 3 | 0 | 3 | 35 | 10.3% |
| 4 | 中央タクシー(株) | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第122号 | 6月25日 | 109 | 100 | 2 | 98 | 0 | 5 | 5 | 93 | 14.7% |
| 5 | (有)大財タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第110号 | 6月21日 | 22 | 21 | 0 | 21 | 2 | 0 | 2 | 19 | 13.6% |
| 6 | 神野タクシー(有) | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第113号 | 6月21日 | 30 | 27 | 0 | 27 | 0 | 2 | 2 | 25 | 16.7% |
| 7 | 明治タクシー(株) | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第104号 | 6月17日 | 29 | 29 | 0 | 29 | 3 | 0 | 3 | 26 | 10.3% |
| 8 | (有)天山タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第123号 | 6月25日 | 10 | 10 | 0 | 10 | 1 | 0 | 1 | 9 | 10.0% |
| 9 | (有)城東タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第124号 | 6月25日 | 17 | 17 | 0 | 17 | 2 | 0 | 2 | 15 | 11.8% |
| 10 | (有)はと交通 | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第118号 | 6月25日 | 28 | 27 | 0 | 27 | 2 | 0 | 2 | 25 | 10.7% |
| 11 | (有)横尾タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第103号 | 6月17日 | 22 | 21 | 0 | 21 | 2 | 0 | 2 | 19 | 13.6% |
| 12 | 野口 アキ子 (蓮池タクシー) | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第131号 | 6月25日 | 9 | 9 | 0 | 9 | 1 | 0 | 1 | 8 | 11.1% |
| 13 | (株)相互タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第125号 | 6月25日 | 20 | 20 | 0 | 20 | 2 | 0 | 2 | 18 | 10.0% |
| 14 | (有)久保田タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第126号 | 6月25日 | 24 | 24 | 0 | 24 | 3 | 0 | 3 | 21 | 12.5% |
| 15 | (有)おだタクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第127号 | 6月25日 | 20 | 19 | 0 | 19 | 1 | 0 | 1 | 18 | 10.0% |
| 16 | 嬉野 正人 (北山タクシー) | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第128号 | 6月25日 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.0% |
| 17 | (有)有明タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第129号 | 6月25日 | 12 | 12 | 1 | 11 | 1 | 0 | 1 | 10 | 16.7% |
| 18 | (有)松原タクシー | 佐賀市 | 6月7日 | 九運旅二第130号 | 6月25日 | 7 | 6 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | 14.3% |
| 合 計 | | | | | | 514 | 491 | 3 | 488 | 39 | 9 | 48 | 440 | 14.4% |

(1) 特定特別監視地域指定時の一般タクシー保有車両数

(2) 平成21年10月1日から(特定事業計画認定)申請時までの、基準車両数からの減車車両数

(3) 平成23年10月21日に、昭和タクシー(株)の佐賀市におけるタクシー事業が(株)佐賀タクシーへ分割譲渡されたため、分割譲渡前の昭和タクシー(株)の基準車両数(10両)と保有車両数(10両)が(株)佐賀タクシーへ引き継がれています。

唐津市特定事業計画認定申請状況 一覧表

| | 事業者名称 | 営業区域 (特定地域名) | 申請日 | 認定番号 | 認定日 | 基準車両数 (1) | 平成21年 9月末 車両数 | 既減車両数 (2) | 申請時 車両数 | 事業再構築 | | | 減車・休車後 の車両数 | 基準車両数から の減車・休車率 |
|-----|-------------------|-----------------|--------|------------|--------|----------------|---------------------|----------------|------------|---------|---------|----|----------------|--------------------|
| | | | | | | | | | | 減車 数 | 休車 数 | 合計 | | |
| 1 | 昭和タクシー(株) | 唐津市 | 6月7日 | 九運旅二第105号 | 6月17日 | 116 | 110 | 0 | 110 | 13 | 8 | 21 | 89 | 23.3% |
| 2 | 唐津観光タクシー(株) | 唐津市 | 9月1日 | 九運旅二第565号 | 9月8日 | 59 | 59 | 0 | 59 | 3 | 3 | 6 | 53 | 10.2% |
| 3 | (株)玄海タクシー | 唐津市 | 11月19日 | 九運旅二第943号 | 11月25日 | 7 | 7 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 28.6% |
| 4 | 唐津タクシー(株) | 唐津市 | 11月29日 | 九運旅二第1006号 | 12月2日 | 16 | 16 | 2 | 14 | 0 | 0 | 0 | 14 | 12.5% |
| 5 | 隈 靖生 (七山タクシー) | 唐津市 | 11月29日 | 九運旅二第1007号 | 12月2日 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.0% |
| 6 | 前田 国臣 (岩屋タクシー) | 唐津市 | 12月3日 | 九運旅二第1019号 | 12月8日 | 5 | 5 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0.0% |
| 7 | (有)鎮西タクシー | 唐津市 | 12月3日 | 九運旅二第1020号 | 12月8日 | 11 | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 9.1% |
| 8 | 温泉交通(株) | 唐津市 | 3月31日 | 九運旅二第7号 | 4月6日 | 19 | 19 | 0 | 19 | 2 | 0 | 2 | 17 | 10.5% |
| 合 計 | | | | | | 234 | 227 | 4 | 223 | 18 | 11 | 29 | 194 | 17.1% |

(1) 特定特別監視地域指定時の一般タクシー保有車両数

(2) 平成21年10月1日から(特定事業計画認定)申請時までの、基準車両数からの減車車両数

個人タクシー(佐賀市) 特定事業計画認定申請状況 一覧表

| | 氏名 | 申請日 | 認定日 | 認定番号 (九運旅二) | | 氏名 | 申請日 | 認定日 | 認定番号 (九運旅二) |
|----|-------|-----------|----------|----------------|------|-----------|-----------|----------|----------------|
| 1 | 志戸 哲也 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | | 32 高崎 孝行 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 32 |
| 2 | 迎 安美 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 2 | 33 石橋 和之 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 33 |
| 3 | 角 正春 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 3 | 34 武富 哲伸 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 34 |
| 4 | 西岡 茂 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 4 | 35 藤井 宗寿 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 35 |
| 5 | 横尾 正則 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 5 | 36 福島 寛紀 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 36 |
| 6 | 徳島 康輝 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 6 | 37 武藤 武信 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 38 |
| 7 | 筒井 勝宏 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 7 | 38 徳永 幸広 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 39 |
| 8 | 吉川 和昭 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 8 | 39 堤 達彦 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 40 |
| 9 | 江口 義憲 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 9 | 40 栗原 政弘 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 41 |
| 10 | 中島 繁敏 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 10 | 41 江頭 秀文 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 42 |
| 11 | 古賀 秀隆 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 11 | 42 宮口 廣義 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 43 |
| 12 | 蒲原 健一 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 12 | 43 古川 昌之 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 44 |
| 13 | 宗 博文 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 13 | 44 百武 登喜男 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 45 |
| 14 | 塚原 寿久 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 14 | 45 川副 武二 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 46 |
| 15 | 古瀬 和馬 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 15 | 46 田中 國広 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 47 |
| 16 | 森 洋一 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 16 | 47 増田 洋征 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 48 |
| 17 | 山口 征也 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 17 | 48 杉町 和博 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 50 |
| 18 | 宮地 一正 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 18 | 49 森永 千年 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 51 |
| 19 | 中島 義昭 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 19 | 50 中島 行敏 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 52 |
| 20 | 秀島 鶴喜 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 20 | 51 古賀 敏秀 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 53 |
| 21 | 渡邊 正治 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 21 | 52 田島 道弘 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 54 |
| 22 | 原口 武久 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 22 | 53 徳永 忠義 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 55 |
| 23 | 友田 義治 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 23 | 54 小副川 長治 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 56 |
| 24 | 中島 一善 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 24 | 55 福井 光春 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 57 |
| 25 | 藤井 八竹 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 25 | 56 川村 芳二 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 58 |
| 26 | 塚原 晃 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 26 | 57 大渡 博 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 59 |
| 27 | 石田 茂昭 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 27 | 58 片岡 好 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 60 |
| 28 | 織田 宏 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 28 | 59 服巻 明 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 - 61 |
| 29 | 山口 宗博 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 29 | | | | |
| 30 | 蘭 正利 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 30 | | | | |
| 31 | 生島 弘一 | H22.11.25 | H22.12.8 | 1015 | - 31 | | | | |

佐賀市タクシー特定地域協議会 地域計画 / 特定事業計画認定集計表

承認日:平成22年3月18日 公表日:平成22年3月26日

| 特定事業 | 実施主体 | | | 実施時期 | | 法人計 (18社) | 個人計 (59) | 特定事業 | 実施主体 | | | 実施時期 | | 法人計 (18社) | 個人計 (59) |
|----------------------------------------------|------|-----|-----|------|----|--------------|-------------|------------------------------------------|------|-----|-----|------|----|--------------|-------------|
| | 事業者 | タク協 | 個人組 | 短期 | 中期 | | | | 事業者 | タク協 | 個人組 | 短期 | 中期 | | |
| 利用者サービスの改善等によるタクシーの需要喚起(タクシーサービスの活性化) | | | | | | | | 交通問題、都市問題の改善 | | | | | | | |
| 1 サービス向上のための教育・研修の充実 | | | | | | 18 | 59 | 29 主要なタクシー乗り場等の街頭指導の推進 | | | | | | 7 | |
| 2 短距離利用を歓迎する運転者教育及び気軽な利用を呼びかける利用者へのPR | | | | | | 10 | | 30 タクシー車両による混雑地域における迷惑行為の抑止策の徹底 | | | | | | 3 | |
| 3 GPS - AVMの導入とそれを活用した効率的配車 | | | | | | | | 31 タクシー乗り場及び周辺における美化の推進 | | | | | | 9 | |
| 4 電子マネー、クレジットカード、ICカード決済器の導入 | | | | | | | | 総合交通ネットワークの一員としての機能の向上 | | | | | | | |
| 5 チャイルドシートの導入 | | | | | | | | 32 バス路線廃止後等における地域住民の移動手段の確保のための乗合タクシーの推進 | | | | | | 1 | |
| 6 ハイグレード車の導入 | | | | | | 3 | | 33 輸送障害時における代替輸送の連携強化 | | | | | | | |
| 7 ジャンボタクシーの導入 | | | | | | | | 観光振興に向けての取り組み | | | | | | | |
| 8 ETCの導入 | | | | | | | | 34 観光タクシーの運行 | | | | | | 1 | |
| 9 自社乗り場の設置・運営 | | | | | | | | 35 観光タクシー乗務員接客講習会の実施 | | | | | | 1 | |
| 10 福祉タクシー・介護タクシーの運行 | | | | | | 1 | | 36 観光タクシーの情報等の広報活動 | | | | | | | |
| 11 子育て支援タクシー・妊婦支援タクシーの運行 | | | | | | | | 防犯対策等への貢献 | | | | | | | |
| 12 ホームヘルパー研修の受講の促進 | | | | | | | | 37 子供110番・老人110番への協力 | | | | | | 13 | |
| 13 認知症サポーター養成講座の受講の促進 | | | | | | 8 | | 38 コンビニエンスストア駐車場へのタクシーの待機、見回り等 | | | | | | | |
| 14 運転免許証返納割引の導入 | | | | | | | | 39 登下校時における通学タクシーの推進 | | | | | | | |
| 15 事業者における自社ホームページの開設 | | | | | | 3 | | 40 廃棄物不法投棄通報等への協力 | | | | | | 11 | |
| 16 禁煙タクシーの徹底 | | | | | | 15 | | タクシー運転者の労働条件の悪化の防止、改善・向上 | | | | | | | |
| 17 タクシー便利屋の推進 | | | | | | 14 | | 41 賃金制度・乗務員の乗務環境の見直し | | | | | | | |
| 18 タクシー運転代行の推進 | | | | | | 7 | | 42 デジタルタコグラフ活用など運行管理の徹底による労働時間の短縮 | | | | | | | |
| 19 優良運転者推薦制度の促進 | | | | | | | | 43 若年労働者の積極的な雇用の促進 | | | | | | | |
| 安全性の維持・向上 | | | | | | | | 44 健康診断の充実 | | | | | | | |
| 20 ドライブレコーダー・デジタルタコグラフ等の導入及びそれを活用した事故防止教育の実施 | | | | | | 3 | | 45 休憩室等の福利厚生施設の充実 | | | | | | 2 | |
| 21 アルコールチェッカーの導入 | | | | | | 8 | 57 | 46 女性が働きやすい職場環境の整備 | | | | | | | |
| 22 運輸安全マネジメント講習の受講 | | | | | | 5 | | 47 防犯訓練の実施 | | | | | | 1 | |
| 23 セーフティドライバーコンテストの実施 | | | | | | | | 48 防犯仕切板の導入・防犯カメラの導入 | | | | | | | 5 |
| 24 交通事故ゼロ運動等の実施 | | | | | | | | 49 領収書自動発行機の導入 | | | | | | | |
| 環境問題への貢献 | | | | | | | | 事業経営の活性化、効率化 | | | | | | | |
| 25 ハイブリット車等低公害車の導入促進 | | | | | | 2 | | 50 GPS - AVMの導入とそれを活用した効率的配車(再掲) | | | | | | | |
| 26 アイドリングストップ車・後付アイドリングストップ装置の導入 | | | | | | 1 | | 51 共同配車センターの設置 | | | | | | | |
| 27 アイドリングストップ運動の推進 | | | | | | 3 | | 52 部品等の共同購入の推進による経費の圧縮 | | | | | | | |
| 28 エコドライブコンテストの実施 | | | | | | | | 合計 | 52 | 5 | 24 | 43 | 41 | 150 | 121 |

実施主体:(事業者)タクシー事業者 (タク協)タクシー協会 (個人組)個人タクシー組合

唐津市タクシー特定地域協議会 地域計画 / 特定事業計画認定集計表

承認日:平成22年3月18日 公表日:平成22年3月26日

| 特 定 事 業 | 実施主体 | | 実施時期 | | 法人計 (8社) | 特 定 事 業 | 実施主体 | | 実施時期 | | 法人計 (8社) |
|----------------------------------------------|------|-----|------|----|-------------|------------------------------------------|------|-----|------|----|-------------|
| | 事業者 | タク協 | 短期 | 中期 | | | 事業者 | タク協 | 短期 | 中期 | |
| 利用者サービスの改善等によるタクシーの需要喚起(タクシーサービスの活性化) | | | | | | 交通問題、都市問題の改善 | | | | | |
| 1 サービス向上のための教育・研修の充実 | | | | | 7 | 29 主要なタクシー乗り場等の街頭指導の推進 | | | | | 2 |
| 2 短距離利用を歓迎する運転者教育及び気軽な利用を呼びかける利用者へのPR | | | | | 4 | 30 タクシー車両による混雑地域における迷惑行為の抑止策の徹底 | | | | | 1 |
| 3 GPS - AVMの導入とそれを活用した効率的配車 | | | | | 1 | 31 タクシー乗り場及び周辺における美化の推進 | | | | | 3 |
| 4 電子マネー、クレジットカード、ICカード決済器の導入 | | | | | | 総合交通ネットワークの一員としての機能の向上 | | | | | |
| 5 チャイルドシートの導入 | | | | | | 32 バス路線廃止後等における地域住民の移動手段の確保のための乗合タクシーの推進 | | | | | |
| 6 ハイグレード車の導入 | | | | | | 33 輸送障害時における代替輸送の連携強化 | | | | | |
| 7 ジャンボタクシーの導入 | | | | | | 観光振興に向けての取り組み | | | | | |
| 8 ETCの導入 | | | | | | 34 観光タクシーの運行 | | | | | |
| 9 自社乗り場の設置・運営 | | | | | | 35 観光タクシー乗務員接客講習会の実施 | | | | | 1 |
| 10 福祉タクシー・介護タクシーの運行 | | | | | | 36 観光タクシーの情報等の広報活動 | | | | | |
| 11 子育て支援タクシー・妊婦支援タクシーの運行 | | | | | | 防犯対策等への貢献 | | | | | |
| 12 ホームヘルパー研修の受講の促進 | | | | | | 37 子供110番・老人110番への協力 | | | | | 3 |
| 13 認知症サポーター養成講座の受講の促進 | | | | | 1 | 38 コンビニエンスストア駐車場へのタクシーの待機、見回り等 | | | | | |
| 14 運転免許証返納割引の導入 | | | | | | 39 登下校時における通学タクシーの推進 | | | | | |
| 15 事業者における自社ホームページの開設 | | | | | | 40 廃棄物不法投棄通報等への協力 | | | | | 1 |
| 16 禁煙タクシーの徹底 | | | | | 3 | タクシー運転者の労働条件の悪化の防止、改善・向上 | | | | | |
| 17 タクシー便利屋の推進 | | | | | 4 | 41 賃金制度・乗務員の乗務環境の見直し | | | | | |
| 18 タクシー運転代行の推進 | | | | | | 42 デジタルタコグラフ活用など運行管理の徹底による労働時間の短縮 | | | | | |
| 19 優良運転者推薦制度の促進 | | | | | | 43 若年労働者の積極的な雇用の促進 | | | | | |
| 安全性の維持・向上 | | | | | | 44 健康診断の充実 | | | | | |
| 20 ドライブレコーダー・デジタルタコグラフ等の導入及びそれを活用した事故防止教育の実施 | | | | | | 45 休憩室等の福利厚生設の充実 | | | | | |
| 21 アルコールチェッカーの導入 | | | | | 1 | 46 女性が働きやすい職場環境の整備 | | | | | |
| 22 運輸安全マネジメント講習の受講 | | | | | 1 | 47 防犯訓練の実施 | | | | | |
| 23 セーフティドライバーコンテストの実施 | | | | | | 48 防犯仕切板の導入・防犯カメラの導入 | | | | | |
| 24 交通事故ゼロ運動等の実施 | | | | | 1 | 49 領収書自動発行機の導入 | | | | | |
| 環境問題への貢献 | | | | | | 事業経営の活性化、効率化 | | | | | |
| 25 ハイブリット車等低公害車の導入促進 | | | | | | 50 GPS - AVMの導入とそれを活用した効率的配車(再掲) | | | | | |
| 26 アイドリングストップ車・後付アイドリングストップ装置の導入 | | | | | | 51 共同配車センターの設置 | | | | | |
| 27 アイドリングストップ運動の推進 | | | | | 4 | 52 部品等の共同購入の推進による経費の圧縮 | | | | | |
| 28 エコドライブコンテストの実施 | | | | | | 合 計 | 52 | 5 | 43 | 41 | 38 |

実施主体:(事業者)タクシー事業者 (タク協)タクシー協会

資料2

佐賀市タクシー特定地域協議会設置要綱

唐津市タクシー特定地域協議会設置要綱

1 佐賀市・唐津市タクシー特定地域協議会「地域計画」に基づく特定事業の取り組み状況及び効果等について（概要）

特定事業の取り組みについて

1. サービス向上のための取り組み

(1) サービス向上のための研修・教育の充実

〔事業者〕

重点項目を定めた研修（個人別・班別等）を実施した。

お客様、市民等からの苦情や要望等を反映した研修を実施した。

顧客を訪問し、意見要望を聴取の上、当該改善に向け指導教育に反映した。

土地勘のない旅客に的確に対応するためにインターネット・GPS等を用いた指導教育を実施した。

地域に愛される公共交通機関を目指し、交通マナーの再確認と徹底等に係る指導教育の実施

従業員一丸となり、地域全体の事故防止対策の向上に努める活動（児童の登下校時における声掛け、カーブミラー清掃、交差点等見通しが悪い箇所の草刈り実施等）を推進した。

積極的に観光連盟等外部機関の講習会を受講し、乗務員教育に役立てた。

〔協会〕

（社）佐賀県観光連盟と共催により県民や本県を訪れる観光客など利用者の視点に立ったサービス提供確保を目的として「接客マナー研修会」を開催した。

佐賀県や観光連盟が主催する「おもてなし研修会」等の受講を促進した。

利用者等から寄せられた苦情・要望内容等の的確な情報提供と改善を要請した。

効果

旅客等からの接客に対する苦情が確実に減少した。

絶え間ない取り組みの継続により同じような内容の苦情が皆無となった。

利用者から接遇に対する「お礼の手紙」や「お褒めの言葉」をいただいた。

(2) GPS - AVMの導入とそれを活用した効率的配車

〔事業者〕

GPSシステム、顧客管理システムを導入し、迅速配車を実践した。

GPSシステムの配車効率の更なる向上のため、タクシー待機場所を設置した。

効果

迅速な配車の実現による利用者利便向上と迎車走行キロの削減による燃料費の削減等
営業効率の向上

(3) 福祉タクシーの運行、導入等

〔事業者〕

福祉タクシー車両の増車により、利用時間帯が重複する需要にも対応した。
ホームヘルパー2級資格取得を促進し、乗務員の資質向上に努めた。

〔協会〕

国土交通省の補助制度「地域公共交通維持確保改善事業費補助金（地域公共交通バリア解消促進等事業）1」の活用に向けての取り組み、支援を行った。

協会ホームページに会員保有の福祉タクシー車両明細、利用方法、問い合わせ先等に係る情報を掲載し、県民等へPRを行った。

効果

増車により福祉タクシー車両の待ち時間の減少が図られ、需要促進に繋がった。
ホームヘルパー2級有資格者の乗務により、細心の注意を払った運転が利用者から高評価された。

県民や福祉施設、介護福祉士等から福祉タクシーに係る照会が増えた。

1) 制度の概要

- ・公共交通機関における高齢者・障害者等の移動に係る利便性及び安全性の向上の促進等を図るため、協議会が策定した「生活交通ネットワーク計画」に基づいて実施される事業を支援。本計画により導入するユニバーサルデザインタクシー(2)や福祉タクシーの導入を支援。
- ・補助率：補助対象経費の1/3と限度額(例：スロープ付車両60万)を比較し、いずれか低い額

2) ユニバーサルデザインタクシー

全ての人が利用できることを目指して国土交通省と日産自動車が開発したタクシー車両のこと。車いすスロープ設備により車いすのまま乗車できる他、乗降口には手すりやステップを設置。国土交通省の認定制度が設けられており、現在の認定車両は「日産バネット(NV200)」のみ。

(4) タクシー便利屋の推進

タクシー便利屋とは、タクシーを用いて役務を提供するサービスで、病院等の順番取り及び薬の受け取り、忘れ物の代理取得、お買い物代行や付き添い、住居の施錠の確認、お墓参り代行、お墓清掃代行、独居老人等の安否確認などを行う事業です。

〔事業者〕

車内へのチラシ掲示、新聞折り込み広告、地域の広報誌、フリーペーパー等に掲載しPRした。

乗務員から、旅客(主に高齢者)に口頭によりPRした。

〔協会〕

協会ホームページにタクシー便利屋サービスの紹介と実施会社、問い合わせ先等を掲載し、PRした。

効果

当該サービスがまだまだ浸透（認知）していないものの、「病院の順番取り」や「お買い物代行」の件数が徐々に増加した。

利用者（主に独居老人やその家族、入院患者など）からは便利で助かったとお声をいただいた。

一度利用していただくと、その利便性からリピーターとなる場合が多い。

2. 安全性の維持・向上

〔事業者〕

映像記録型ドライブレコーダー（ 1 ）を活用した「ヒヤリ・ハット」など危険予知教育を実施

デジタルタコグラフ（ 2 ）を活用し、実車時・空車時の安全評価を実施。
時速50 kmを速度上限に設定し、安全走行に係る指導教育を実施

効果

・乗務員の事故防止、安全に対する意識向上により、事故件数が減少した。

1) 映像記録型ドライブレコーダー

車両に大きな衝撃が加わった前後十数秒の時刻、位置、前方映像、加速度、ウィンカー操作、ブレーキ操作等を記録する車載カメラ装置。荒い運転をしてしまい「ヒヤッ」「ハッ」とするようないわゆる「ヒヤリ・ハット」を経験した場面や事故が発生した前後十数秒の前方の映像を記録することができる。

2) デジタルタコグラフ

自動車の運行状況（時間・距離・走行速度等）を連続的に記録する装置。コンピュータによるデータの解析・管理を前提としたシステム。

3. 環境問題への貢献（ハイブリット車両等低公害車の導入）

〔事業者〕

・低公害なハイブリット車両（プリウス）や電気自動車（リーフ）を導入した。

〔協会〕

・各種補助制度の活用に向けての取り組み、支援を行った。

効果

一般利用者や官庁等から車両指定配車依頼が増加した。

企業や官庁等から環境問題に取り組む企業として評価された。

企業のイメージアップに繋がった。

事業再構築（減車・休車）の実施による効果等について

1. 「効果があった」との意見

稼働回数は微減したが、乗務員1人当たりの営業収入は微増となり、実感できるほどではないが、一定の効果があった。

営業収入は若干減少したが、乗務員1人当たりの営業収入が上昇し、乗務員個々の賃金も改善できた。

減車当初は需要ピーク時に車両不足により配車所要時間が長くなり、利用者へ迷惑を掛けることもあったが、配車システムの見直しや系列会社との共同配車により、現在は円滑な配車が可能となった。

無線配車主体のため、乗務員は順番制により配車しているが、減車に伴い順番が回ってくる回数が多くなった（早く）なったため、乗務員の士気向上に繋がった。

2. 「効果がなかった」との意見

需要ピーク時における迅速な対応（配車）が困難となり、お客様をお待たせし迷惑を掛けている。

減車により、会社全体の総収入が減少し、経営が苦しくなった。

営業収入、輸送人員等、現在も少しずつ減少。合わせて乗務員1人当たりの収入も減少しており、総合的にはあまり効果がないように感じている。

タクシーが減車した一方で、運転代行業者の車両を多く目にするようになり、夜間の売上げの減少傾向がより大きくなった。それに伴い乗務員の夜間の勤務意欲が減退し、乗務員確保が更に厳しくなった。

今後、事業の活性化・適正化を図っていくために取り組む必要があるもの

これから先、介護に対するニーズがますます増えてくるため、福祉タクシー車両の導入を推進、さらにユニバーサルデザインタクシーの導入を図るなど様々なニーズに応えら得るサービスを展開していくとともに、地域住民の信頼を高めること。

地域住民等に愛され信頼される会社となるよう、乗務員教育を辛抱強く継続すること。また、「子どもへのまなざし運動」や「高齢者の見守り」等を積極的に行うことも必要。

タクシー便利屋の一層の推進、バス路線廃止後における地域住民のための乗合タクシーの推進など、従来のタクシー事業の殻を破る取り組みを積極的に行うことも必要。

「タクシー観光ルート」の設定や「観光ガイドタクシー」等の検討を行うこと。

今後も続くと思われる需要減少に対して、減車や共同無線、合併なども視野に入れた地域全体の事業再構築の検討を継続して行うこと。

事業者全体でサービスの質を高めあうような共通の研究・開発を行うこと、研修機関や優良乗務員認定制度を創設すること。

運転代行事業者が激増し、違法行為を行いタクシー事業を圧迫している。適正な運転代行事業者が行われるよう指導、取締り等を関係機関に働きかけることも必要。